

シルバーとよなか

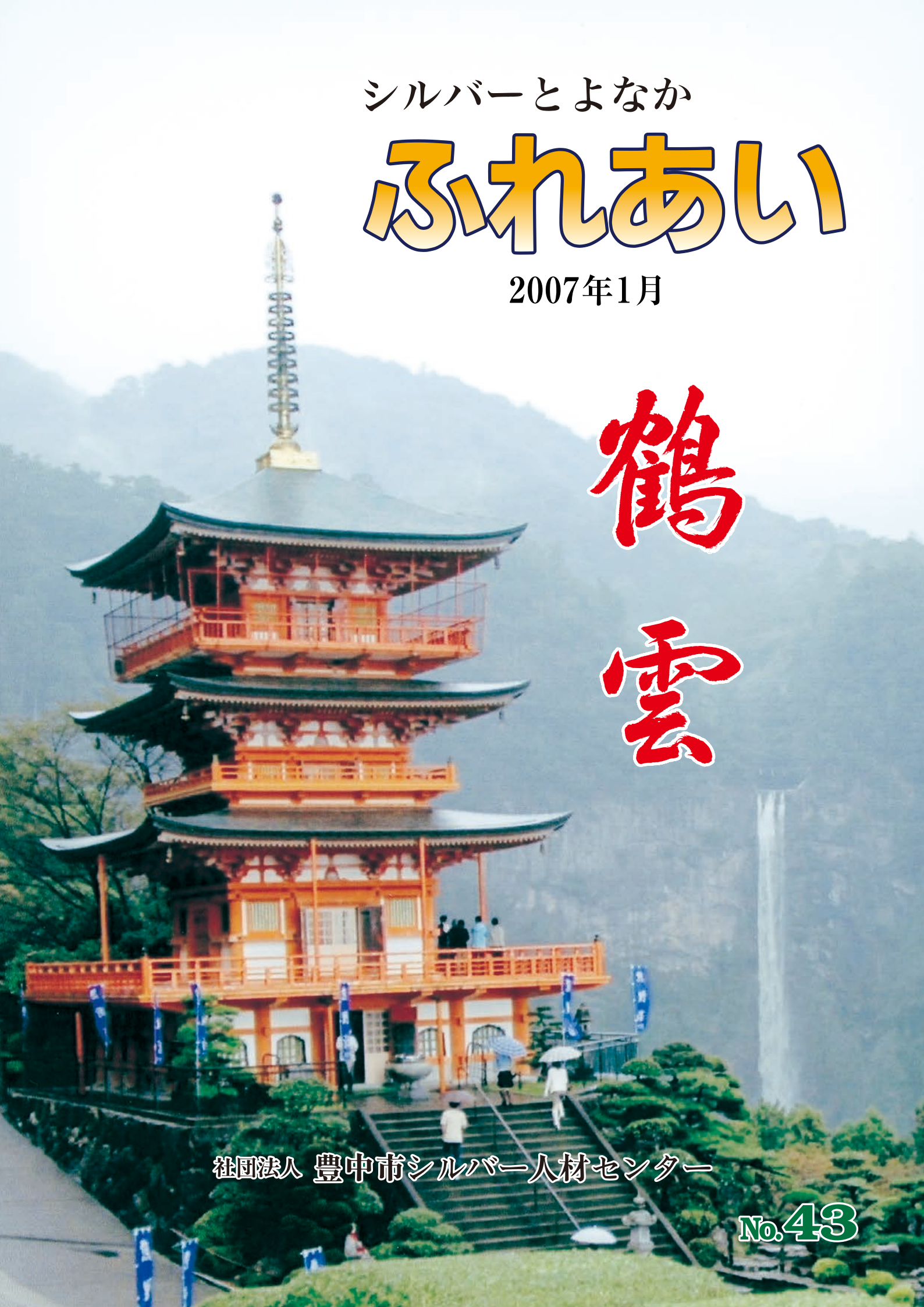
ふれあい

2007年1月

鶴 雲

社団法人 豊中市シルバー人材センター

No.43



新春を迎えて



(社)豊中市
シルバー人材センター
理事長

松室 雅次

新年あけましておめでとございます。皆様におかれましては、お元気で希望に満ちた新春をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。昨年中は当センターの事業運営に相変わりにませすご理解・ご協

力を賜りお礼申し上げます。いざなぎ景気を超える景気拡大とは言え、日常生活ではあまり実感のない、まだまだ厳しい社会・経済情勢下ではありましたが、会員の皆様の「親切・丁寧・確実」をモットーに懸命に働く意欲に支えられ、地域に根ざし、就業していただいたことにより、市民の皆様をはじめ各種事業所、行政機関等からの幅広いご支援をいただくことができました。その結果として、平成十七年を上回る実績を挙げることでできました。

て、シルバー人材センター事業が高年齢者の多種多様な働く意欲に応えることのできる事業であることが認められた結果ではないかと思えます。これからも、会員の皆様が長年に亘って培ってこられた経験・技能を生かすとともに、生きがいの一つとして、地域社会の活性化に貢献していただけるよう、安全で適正な就業環境を整え、事故を未然に防ぐため、ヘルメット着用の徹底や技能取得講習会の充実を図って行きます。また、会員拡充を図るため、ポスター掲示・チラシ配布・PRロゴ入り作業服の着用や太極拳教室の開催等、魅力あるシルバー人材センター事業として拡大・発展させるため、引き続き

き尽力してまいります。昨年は夕張市の財政破綻、知事による談合・収賄、いじめによる小中学生の自殺や幼児虐待等、殺伐としたニュースが続き、多くの方が嫌悪感を抱かれたことと思います。一方で、天皇家に四十二年ぶりの親王「悠仁様」が誕生されたことをはじめとして、荒川静香さんが「イナバウアー」で金メダル獲得やWBCで王ジャパン優勝、早実齋藤・駒苦田中の高校野球での熱闘や暮れのアジア大会で多くのアスリートの金メダル獲得等、明るい話題もありました。最後になりましたが、新しい年が皆様にとりまして、よりよい年となりますようお祈り申しあげ新年のご挨拶といたします。



豊中市長
浅利敬一郎

明けましておめでとございます。皆様方には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は松室理事長さんをはじめ、会員の皆様方には、豊中市政の推進に格別のご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し

あげます。市長に就任して初めて迎える新年にあたり、身も心も引き締まる思いで一杯であります。本市は昨年、市制施行七十周年の記念すべき節目を迎え、市民の皆様のご協力をいただきながら、表彰式典をはじめ、市民ミュージカル「紙のピアノ」新制中学物語」やNHKのご自慢、豊中市七十年のあゆみ展、都市デザイン賞選考など、各種記念事業を実施しました。また、千里文化センターの建替工事に着手するとともに、介護保険事業の充実に向けた地域包括支援センターを開設し、子育て・子育て支援として豊南地域子育て

支援センターのオープンや育児支援家庭訪問事業を開始いたしました。更には、全国の市町村で初めて個人情報保護管理体制について国際規格「ISO/IEC 27001」の認証を取得し、空港周辺の移転跡地有効活用計画も国の認定を受けることができました。さて、わが国の経済は、消費に弱さが見られるものの、生産部門が堅調で景気拡大を続け、二〇〇二年二月から始まった現在の景気局面が戦後最長だった「いざなぎ景気」を追い抜きました。地域経済は全体としては回復と言われながらも実感に乏しく、依然として高水準にある原油価格や米国経済の動向など、今後の内外

経済に与える影響には留意が必要であります。本市は市制施行以来、良好な住宅都市・教育文化都市として発展してまいりました。今後とも、そのブランドを維持しつつ、市民の皆様のご協力をいただきながら、安全で安心して暮らせる、そして「子ども達の未来が輝くまちづくり」を推進してまいります。今年も一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げますと共に、新しい年が社団法人豊中市シルバー人材センターの皆様方にとりまして素晴らしい年となりますようお祈りいたします。



豊中市議会議長

溝口 正美

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市議会活動に対し、あたたかいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界各地で今なお紛争やテロがとどまることなく、また、ジャワ島中部地震をはじめ、大規模な自然災害が発生して、多くの尊い生命や財産が奪われました。

また、国内においても、いじめや悪質な飲酒運転、そしてインターネット上の情報の流出等、生活に密着した市民が被害者となる事件が数多く発生しました。

このような中、イタリヤのトリノで開催された冬季オリンピックでの日本人の活躍や、野球のワールドベースボールクラシックで日本が世界一になったことは、暗いニュースが多い中、明るい話題と

して大いに勇気付けられたものでした。

一方、二〇〇二年から始まった景気回復の傾向は今年で五年目を迎え、一九九〇年代末から続くデフレ状況にも改善が見られませんが、現在の正社員の採用増は団塊世代の大量退職対策や過度な採用抑制の反動の側面も強く、非正規雇用の減少には至っていないのが現状であります。

本市におきましても、二〇〇五年度決算は、一般会計が前年度に続いて赤字となったものの、依然として厳しい財政状況に変わりなく、さらなる財政の健全化に努めてまいり所存でございます。

そうした中、シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の就業支援、生きがいをくぐりや社会参画のために「尽力をいたたいしておりますことは、誠に心強く、心から敬意を表し感謝を申し上げます。

市議会といたしまして、市理事者と連携を図りながら「明るく住みよいまちづくり」に向けて努力を傾注してまいりますので、皆様方におかれましても、今後とも、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとりまして、幸多い一年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

あけまして おめでとうございます

理事長	松室 雅次	第一班	青木 富雄	第六班	竹端 久雄	第十一班	小川 益弘
副理事長	高塚 準一郎	西田 祐吉	木田 秀雄	第七班	梶原 優晃	第十二班	増田 穰
常務理事	中川 善博	牛田 功男	吉田 和郎	第八班	井上 善夫	第十三班	古川 正弘
理事	岡本 宗一	小川 健一	小森 秋雄	第九班	山崎 秋芳	第十四班	伊藤 幸雄
監	松永 美恵子	徳永 公子	多田 利雄	第十班	田嶋 正一	第十五班	谷川 敏子
	宮崎 尊美	行田 登美子	松田 美恵子	第十一班	岡本 宗五	第十六班	大橋 眞紀子
	宮崎 明子	行田 尊美	松田 美恵子	第十二班	岡本 宗五	第十七班	河崎 泰三
	湯川 善之	村崎 茂之	宮崎 明子	第十三班	岡本 宗五	第十八班	伊藤 幸雄
	事村 善之	湯川 善之	村崎 茂之	第十四班	岡本 宗五	第十九班	伊藤 幸雄
	事村 善之	湯川 善之	村崎 茂之	第十五班	岡本 宗五	第二十班	伊藤 幸雄

地域班役員

安全就業委員

独自事業 運営委員

女性部会

人材派遣業務推進部会

広報・会員増強部会



広報・会員増強部会についての報告

本誌41号にて発表いたしました。またコンセプトに基づき平成17年9月より部会を月一回定期開催し次のような項目につき具体的検討を重ねています。

- ① 会員増強—一般会員の増強
イベント・メディアへの参加
職種別会員増加の方策
ポスター・チラシの検討
研修会・講習会の充実
- ② 機関紙『ふれあい』
—内容の充実
福利厚生
- ③ バスツアー、ユニフォーム
(作業服)の検討
その他事業の検討

活動状況について

次の事項につき立案・実施しました。

1. 会員バスツアーの実施
○「長浜盆梅展」と「叶匠寿庵」
日帰りの旅
2月28日 参加者73名
○「飛騨高山・白川郷合掌集落」と「上高地」一泊の旅
10月25日～26日 参加者58名
 2. シルバー人材センター事業普及啓発促進月間事業
○西宮市シルバー人材センター
研修訪問(10月5日)
○会員増強用のポスター・チラシの作製
○会員作業服(マチカネワニ口ゴ入り)の作製
 3. 機関紙「ふれあい」について
○41号42号発行
紙面刷新のため編集委員として新たに5名のご参加を願い、また、同好会の皆様の協力のもとに充実した内容の「ふれあい」になるよう努力しています。ご期待ください。
- 今後とも会員の皆様のお役に立つシルバー人材センターになるために自主・自立をモットーに部会委員一同頑張りたいと思います。
是非、会員の皆様の積極的なご意見をお待ちしています。

人材派遣推進部会

昨年、人材派遣推進部会では、大阪府シルバー人材センター協議会(大シ協)を訪ね、人材派遣業務の取り組み方について、検討会を開きました。

検討会の中ではつきりした事は
①人材派遣業の事業主は大シ協とする。

②各市町村のシルバー人材センターは、派遣先企業の開拓、新規会員の増強などを積極的に行い、センター内に、派遣事業担当者を置く。

大シ協や全国シルバー人材センター事業協会が考えている人材派遣事業については、地域の核である大シ協を中心に、各市町村のシルバー人材センターが連携し、早期に組織体制を整備したいとしています。

そもそも人材派遣業務がシルバー人材センターの事業の一環に加わってきた背景には、戦後生まれの団塊の世代が、一斉に定年退職を迎えることが第一にあげられます。日本経済の高度成長を支えてきた団塊の世代。汗と涙と知恵で戦って来た企業戦士が60才の定年を迎えます。二〇〇七年問題、こつした事態を予見して国の行政機関は、高齢者雇用促進法を改正して企業の労働力不足に対応しようとしています。60才定年を65才に延長するよう、各企業に義務付けると共に、シルバー人材セン

ターには、定年退職者の受け皿として、人材派遣業務を付加したのです。いかにして、労働力を確保するかは、これからの日本経済の発展のために極めて重要な鍵になるからです。

シルバー人材センターは、従来の請負業務システムに加えて、人材派遣業務という新しい組織をつくり大きく脱皮しようとしています。豊中市のシルバー人材センターも例外ではありません。

昨年の部会は、人材派遣について基本的な勉強を行い、ほぼ方向性がみえて来た事から、今年には人材派遣を求める企業の開拓、新規会員の増強と、その足がかりをつけることが課題です。

新生豊中市シルバー人材センターの姿を思い描きながら、亥年にふさわしく推進のアクセルをふみこむ時です。民間の人材派遣会社と肩を並べて、シルバー世代の頼りになるセンター作りを目指し、部会の活動をより活発にしたいと考えます。



女性部会の活動について

女性部が発足して、はや一年余りが過ぎました。女性会員の増強と事業拡大が目的です。現在、女性部会委員九名で運営しております。

女性部の活動の企画について、このメンバーで色々検討の結果、会員の方々にアンケートをお願いし、皆様の希望の多い順にバランスよく、まず二項目を選びました。

一番多かったのが「健康体操」でした。まずは体力作りから、すべてはここから始まると思えます。今話題で人気の「太極拳教室」を昨年10月からスタートする運びとなりました。行なっている中でも、種々検討し、反省をしながら、少しでもより納得して頂ける様、また健康作りにお役に立てることが出来ればと願っております。

二番目に多いのは「布小物製作」です。現在、講習会に向けての実施方法など、検討に検討を重ね、一人でも多くの方々に参加して頂けるよう、頑張っております。また準備の段階ですが、お招きする講師も決まっております。春頃にスタートにこぎつけければと思います。

軌道にのれば、販売もしたいと考えており、夢はふくらんでいます。三番目は、今、全国で注目されている「子育て支援事業」の参入です。全く初めての事なので、福

井県福井市と敦賀市のシルバー人材センターへ視察研修に行きました。

福井県は全国でも出生率が高く、共働きも多く、核家族化も進んでいるので、子育て支援事業が必要になります。

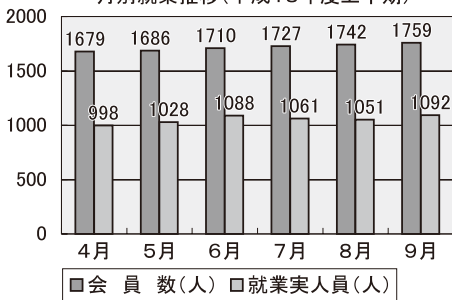
福井市シルバーは古い民家を作業所として利用したり、敦賀市シルバーも事務所は市から公民館を譲り受けたりして、両センター共に施設に恵まれています。しかし、豊中市シルバーは場所が無く、託児所のような運営は、現状では無理です。そこで、核家族化が進み、母親が一人で子育てに悩む一般家庭などの支援の需要の拡大を見据えて進めていきたいと思えます。女性部は三項目共に口コミで、会員増強、事業拡大につながっていくよう、一致協力して頑張っていきたいと思えます。



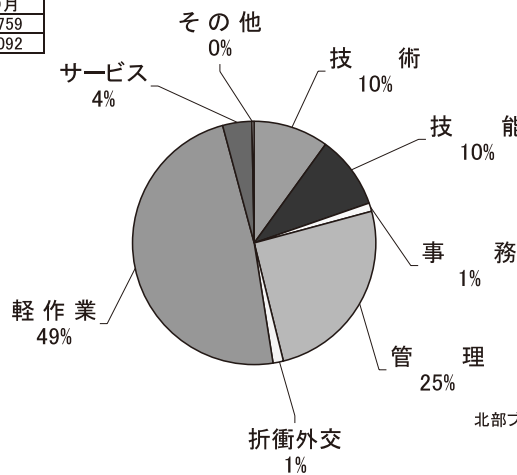
就業実人員状況(平成18年度上半期)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
会員数(人)	1679	1686	1710	1727	1742	1759
就業実人員(人)	998	1028	1088	1061	1051	1092

月別就業推移(平成18年度上半期)



職群別契約金額(平成18年度上半期)

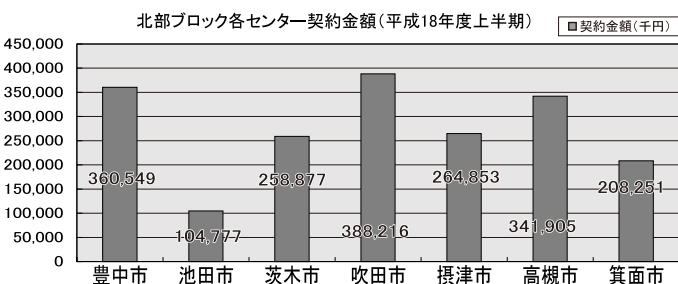


職群別契約金額状況(平成18年度上半期)

職群	契約金額(円)
技術	35,863,061
技能	35,724,659
事務	3,889,366
管理	91,186,478
折衝外交	4,109,782
軽作業	175,180,290
サービス	14,026,517
その他	569,097
合計	360,549,250

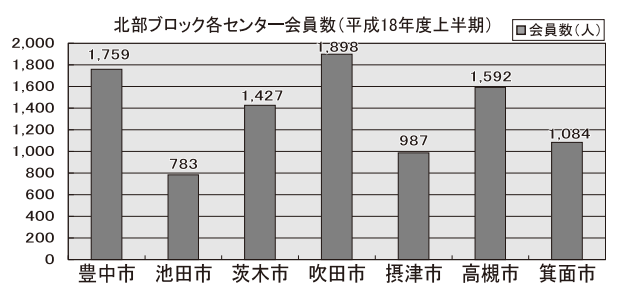
北部ブロック各センター実績(平成18年度上半期)

センター	契約金額(千円)
豊中市	360,549
池田市	104,777
茨木市	258,877
吹田市	388,216
摂津市	264,853
高槻市	341,905
箕面市	208,251



北部ブロック各センター会員数(平成18年度上半期)

センター	会員数(人)
豊中市	1,759
池田市	783
茨木市	1,427
吹田市	1,898
摂津市	987
高槻市	1,592
箕面市	1,084



独自事業運営委員会

「独自事業の開発は、明日のシルバーを活性化する！」

独自事業の必要性が言われて、ひさしい。その背景には、公共の事業減少、新規受注の難しさ、希望職種の偏り、会員増加等のさまざまな要因が重なり、就業希望に十分応えられていない現状がある。このことは、受注事業の拡充はもとより、新しい分野の開拓や独自の事業を生み出して行くなど、仕事の量と拡がり強く求められている事を示している。

独自事業を説明し、定義することとは難しい。その町、その地域に根ざした地域の産業や産物に関連した、その地ならではの仕事を言う事もあれば、センターが日常的に受注している仕事と異なっており、新しい分野でのユニークな試みを目指す場合もある。要はこのセンターでも行っているような一般的な仕事ではなく、そのセンターが独自に、地域条件や環境、時代の変化に合わせて、かつ高齢者の経験や能力が発揮できる、ユニークな仕事を指すと言えよう。豊中では、従来から「刃物研ぎ事業」がそうだった独自事業として親しまれて来た。

ここ数年、理事会では、独自事業に意欲を持った会員有志と理事により独自事業運営委員会を設け、情報・意見を交換しながら

新しい事業への挑戦や事業化の可能性を探ってきた。今日まで、絵画・パソコン等の教室事業、企業・商店からのアウトソーシング、自史の発刊、そしていま定着化を目指し、頑張っているリサイクルショップなど、それぞれ試行錯誤を繰り返しながらも取り組み、ノウハウも蓄積されて来た。改めて、シルバースターのエネルギーとチャレンジ力の強さを感じるとともに、こうした力こそがセンターを活性化させ、新しい事業を生み出していく源であると確信している。

センターとして、このような取り組みを支援するメニューは十分で、制度としてはインキュベーター（孵化）期間に対する助成に止まっている。もとより、センター予算の中の助成であるから、支援効果の検証と一定期間に成否を明らかにする事は当然の事といえる。今後、事業の定着化が見通せる段階になれば新たな支援を考えに行く必要もある。

いずれにしろ、独自事業の開発は、センターの事業方針であり、その使命と期待を委員会は担っている。社会や顧客のニーズは厳しく、思うように進まないのも現実であるが、しかしこうした取り組みの積み重ねが、次のステージを開いて行くことは確かである。多くの会員の支持と参加、協力・支援をお願いしたい。

リサイクル・ショップ

「リソース」のこと

昨年の10月からあらゆる粗大ごみが有料になりました。その影響もあって、私たちリサイクル協会のところにも、頻りに連絡が入り対応に迫られる事が多くなりました。現在リサイクル・ショップは毎月月末（第四金・土）に岡町商店街の「桜塚ショッピング・センター」2Fの奥の一室とその周辺のスペースをお借りして、展示販売をしています。

毎月定期的に開いていることもあって、ようやく近隣の商店街のみなさんにもあたたかくむかえられ、いろいろ一層の協力をしていただくようになりました。

このリサイクル活動は昨年の4月から正式に始めましたが、売上も当初の倍になりました。ただ、拠点としている小曾根の倉庫兼展示スペースが手狭なため、物品を並べることもできないのが実情で、引き取りに苦慮しています。

定期的に展示販売しているのは前述の桜塚ショッピングセンターですが、展示販売の場所を確保し、PRをかねてあらゆる出展の機会をとらえて出展参加してきました。たとえば、豊中市の「レンゲまつり」、「豊中まつり」、原田神社の「岡町街くくりフェスティバル」、「豊中市環境展」など。

私たちは営利目的ではなく、事務系の仕事を増やしホワイトカ

ラーの会員の就業の場を少しでも創造したいと思い作業に携わっています。現在、常時15・6人の会員が手分けをして企画・総務・広報・経理・商品管理・搬送・設営・整理整頓などの業務を手がけています。

作業内容に応じてポイント制を採用していますが現状はみなさんがボランティア精神で作業をしていただいていることがこの会の原動力となっているのが実情です。

私達の切実な願いは、もう少し立地条件のよいところで、いままじ広いスペースが借りられないものかということです。そのような場所があれば是非一報ください。

なかなか予定どおりに事は運びませんが、みなさんはほんとに、献身的な方ばかりで、少ない売上にもめげず、和氣藹々のうちに夏の慰労会も、去る12月24日にはクリスマス・パーティを国際交流センターで行いました。

人との和が出来て、人材センターの存在意義が一層深まることを祈っています。

表紙の揮毫「鶴雲」は、

白鶴に似た雲で新年を寿

ぐ意味があります。



一泊旅行夢日記

第6班 小野原 一郎

天候にめぐまれ、快晴の行楽日和で出足快調、シルバーの職員の皆さん方に見送られて、バス二台で出発！

まずは郡上八幡へ町並拝見、ゆっくり見たかったけれど時間に追われて食事会場へ。

続いて白川郷、写真で見るとりもなかなかすばらしいものでした。

夕ぐれも早く急いで車窓へ。高山グリーンホテル天領閣に到着、温泉もそこそこに、食べきれない山盛りの珍味にパクついていると、その間に器用な会員がいるもので芸達者な方々のかくし芸（日本舞踊・尺八・ハーモニカ・ウクレレ・カラオケ等々）に拍手、さすがだてに年をとっていないなあと感心。しめくくりの皆で「誰か故郷を思わざる」を大合唱して夜はふけていきました。朝は食事もそこそこに、有名な飛驒高山の朝市に出かけました。皆さんドッサ

リのお買物！ 上手な人は二ヶ所も朝市を回ったとか。

行程表



1日目	
豊中市 → → →	郡上八幡(昼食) → → →
8:00頃出発	12:00~12:50
→ → →	御母衣湖・御母衣湖ダム(見学)
	13:40~14:10
世界遺産登録	天然温泉を持つ旅館です
→ → → 白川郷合掌集落(見学)	→ → → 飛驒高山温泉(宿泊)
14:35~15:30	16:45頃

それから上高地、スバラしい！ 現地は想像以上にスバラしい。何も申し上げることはございませんの一言です。
おみやげの買物などをして帰阪。すばらしい景色を目にやきつけて、少しのころよ疲れで帰宅。
感謝・感謝。



2日目	
高山の歴史ある街並みを散策	
飛驒高山温泉 → → →	飛驒高山(朝市など散策) → → → 平湯峠
8:00出発	8:05~9:05
さわやかな景色を満喫	
→ → → 上高地(河童橋周辺散策)	→ → → 高山市内(昼食)
10:10~11:10	12:20~13:10
→ → → 飛驒清見IC → → →	〈東海北陸・名神〉 → → → 豊中市
18:00頃	



私やきものひろば



第15班
村田 嘉康
現役をリタイアしたのが

平成六年九月。その後平成八年八月、不幸にも大腸がんにかかり手術をうけ、今までは大病もなく体には自信があっただけに大変ショックを受けました。一ヶ月で退院、定期検診を受けながら、体力回復に役立つことは何でも取り入れ、一日でも早く元の体に戻るべく一生けんめいの毎日でした。おかげで平成九年に入り体力に自信がもてる様になりました。そんな時、友達から老人大学のことを聞き、これは良い話だと思い、問合せたところ、開講期間は四月から一年間。七科目あり、その中から希望科目一科目を選ぶ。平成九年で開校以来十九年目になるということでした。私、ものづくりに関心があり陶芸に決めました。希望者が多く抽せんがありました。すが、運よく入校できました。この時点で焼きものづくりとの出会いがありました。講座は毎週金曜日十時から十五時まで、その中、陶

芸の時間は午後の二時間でした。人員は五十四名で9班に分けられた。講師は梅田正弘先生、プロの陶芸家でも何冊か出版されており、個展実績もある方でした。又開校以来講師をつとめておられました。

はじめに先生が話されたことは「初めての人もすく作り出せるのが焼きものづくり、土を練り形をつくり窯で焼き上げるといふ陶芸の世界、人間が長い歴史の中で育ててきた技術であるため奥行き深い伝統工芸です。医学の世界でも粘土いじりは老人ボケ防止に役立つことが実証されている。作りあげていくプロセスを楽しみながら作品をつくる心構えが大事です。人には上手下手、器用不器用ということがあがるが、熱心にていねいに土と向ひ合いますと必ず土がこたえてくれるものです」ということでした。今後陶芸を続ける限り忘れてはならないことだと思っている。進め方は先ず今日は何をつくるか、作り方、注意事項の話があり、最後にすばやく手本がつくられる。後は先生の話しを頭に入れながら作りはじめるというのが流れ。ステップはぐいのみにはじまり、湯のみ・抹茶碗・コーヒーカーップと比較的小さいものから花びん・つぼ・皿・水指と大きなものに進み、干支のトラ・ひな人形・ふくろうと手のこむ作品作りでした。技法は電動ロク口ではなく手動ロク口を使い

手びねり手法でした。そして作品によりひもづくり・たまづくり・たづづくり・石膏型づくりの手法を使いわけました。その後電気釜で素焼きし、その上に釉薬を掛けし、最後に本焼(電気釜)をするということになる。とにかく一年をふりかえると、失敗の連続、そしていろいろなことを学びましたが結局、少しでも上手になるには、どれだけ作品をつくれるかにかゝっているということを知りました。又陶芸を通じ友達ができ、楽しい時間を過ごすことができました。その後も続けたいという気持ちで強く平成十年四月から四年間豊中市の趣味の教室(一年)同好会(三年)にお世話になりました。月一回、一日四時間、先生の指導方針が「やきものは茶碗に始まって茶碗に終わる」ということで終始抹茶碗づくりになりました。同じことをくりかえすことの大切さを学びました。幸い十人程度の仲間が家族的なふんいの中のできたことはい、思い出になりました。平成十四年五月から友達の紹介で豊中陶芸会に入会。会員四十五名、平均年齢五十才と比較的若く会長以下先生格の人が六人とレベルも高く大変だと思いましたが、少しづついろいろなことを吸収したいと思いました。とにかく何を作ってもよいので自分なりに準備しなければ出ていけないというふんいきがありました。月三回、一回五時間、現在もつづけて

たかが野球されど野球



第11班
早川 敏夫
「野球小僧」に会ったか



おります。美濃焼(以下焼省略)瀬戸・越前・伊賀・信楽・丹波立杭・備前・大谷の窯元の見学、東洋陶磁、池田逸翁、楽、諸美術館の見学、そして自作の水指、花びんを会員と共に丹波立杭焼の鎮台釜(穴釜)で一泊二日間、薪で焼きあげ貴重な体験もさせていただきよかったです。幸運にも昨年と今年、豊中市美術展の工芸の部に出展し、入選させていただきました。これを励みに、今後「やきものづくり」に挑戦していきたいと思っております。

い、男らしくて純情で、燃える憧れ、スタンドで、じーと見てたよ、背番号……懐かしい灰田勝彦さんの唄です。

昨年は、WBC野球大会でのW JAPANの優勝に始まり、夏の甲子園では早実対駒大苦小牧の決勝戦、とくにハンカチ王子斎藤投手と田中投手の熱投は日本中を沸かせました。プロ野球では「新庄劇場」を舞

台にヒルマン監督率いる日本ハムが「信じられなくらい」パリーグ優勝・そして四十四年ぶりの日本シリーズ制覇を果たしました。また、西武の松坂投手が六十億円で入札され、メジャーへ挑戦するニユースには世界中があっと驚きました。

そのように華やかな球界とはがらっと変わりますが、センター会員となったのとはほぼ同じ頃ですが幼い時から大好きだった野球で還暦軟式野球チームがあることをテレビで知り、芦屋市の芦屋還暦野球倶楽部に入りました。元プロ野球選手、甲子園球児、六大学野球、社会人野球経験者などに草野球での迷選手が混じった六十歳以上のチームです。

現在全国組織として全日本還暦軟式野球連盟があり、全国で約四百チームが加盟しており、全日本大会、全日本選抜、全日本古希大会のほか、関西地区では西日本大会、近畿大会、環瀬戸内海大会が毎年開催されています。

兵庫県連盟には十四チームがあり、春は二月から秋の十一月まで、ほぼ毎週になりますが、各二回戦総当たりのリーグ戦(二十八試合)を行い熱戦を展開しております。

昨年は古来稀なる歳に到達しまして、念願の「全日本古希軟式野球大会」に出場することができました。

期間は八月一日から四日まで、全国から四十三チームが参加しま

した。
会場は青森県弘前市で、昨年で第十六回目となる歴史ある大会です。

結果は二回戦で優勝した静岡県のチームに負けましたが、津軽弘前城を見物したり、東北三大夏祭りの一つでもあります【弘前ねぶた】【青森ねぶた】の夜を楽しんできました。

数年前四十数年のサラリーマン劇場を終演し、セカンドステージも今年で七年目になりますが、おかげさまで健康に恵まれ、新しい仲間にも恵まれそれなりの幸せを感じております。

乙女主人公



第11班

北住 治

私(北住 治)は最近二つのテレビドラマを見て、奇妙な感覚に襲われ、一種の時代錯誤におちいってしまった。そして不思議なことに私の心は、地の奥底よりわき出る透明な泉水のような清涼感と、殺伐とした広大無辺の砂漠のような荒涼感に侵されてしまった。

一見矛盾するこの二つの感情を十分に説明する言葉を不幸にも持ち合わせていないが、ただ言えることは、現代では「ありえない」ことであり、と同時に「あってほしい」ことでもある。

その訳をお話する前に、まず

その二つのドラマを紹介する。一つは長沢まさみが主演する「セーラー服と機関銃」、もう一つは内山理名が主演する「嫌われ松子の一生」である。両者の共通点と相違点はいろいろあるが、共通点は意外にも多いのである。

1 二人ともうら若き乙女である。役柄はかたや高校生、他方は大学をでたばかりの新米のほやほやの女教師である。

2 二人に最も共通する新鮮で強烈な点は、あたかも富士山の霊峰に降り注ぐ純白の処女雪のような無垢な人間性である。現在の社会通念では考えられないような存在であり、菩薩のような神々しい存在感があるように思われるのは、あながち私の見まちがいではないかと思う。

3 清流に育ち社会の悪に染まっていない無垢な二人は、見ようによってはお嬢さん育ちの世間しらすと、そしてそれでも仕方ないように思われるかもしれない。なんでこんなことがと内心舌打ちしたいような焦燥感にかられる場面が多々ある。

4 二人には激しく強固なパーソナリティがある。新しい人生の門出を飾るスタートにおいて、二人とも挫折するが意欲的に違う世界に生きる。

5 二人はある事情から若くして父親を失うことになるが、

全く暗いイメージはない。むしろ人生に対して激しい闘争心をかきたてる。一方は自分の失敗から天職の教師と最愛の恋人を失い人生のどん底につきおとされるが、けなげにも生きる女を演じる。

他方は高校生でありながら、オヤジの跡目をついで女親分としてヤクザの世界に挑戦する女を演じる。

見ようによっては、二人の生きる世界は全く異なるように思えるが、どこかで同じパイプでつながっているように思えてならない。そのことが冒頭で言った『ありえない』ことであり、『あってほしい』ことでもあるのです。

人生はままならぬもので、誰でもこうありたい、こう生きたいと願うのが世の常であるが、厳しい現実はそのうさせてくれない。理想的な人生を着実に歩む人はごくまれである。ほとんどの人は予想外の人生を歩むことになる。辛苦に満ちた困難ないばらの道を歩みながらも、終着駅にたどり着く人は立派であり、敬服に値する。まさに熟れた稲穂のごとく頭がたれさがる思いがする。

私はこの二人に心から拍手を送りたい。これからの二人にどんなドラマが待ちつづけているのか測りしれないが、大変楽しみにしている。

二〇〇六年十月二十一日記

今年のももめ話

二〇〇七年「丁亥」について…

第17班 武井 利雄

今年の干支についてお話しします。

十干即ち甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸の4番目の「丁」と、十二支の「亥」の組合せです。

「丁」は、新旧衝突、丁丁発止。

「亥」は、二人(男一、女一)、陰陽相交って子を生ずと云うことです。

従って新年は、新旧、老若男女丁丁発止、切磋琢磨、相互理解、誤解も反復丁寧(に)解きほぐし、更に、二人、三人、四人と相協力し、チームを組んで、改革続行に向かって、進みたいものです。

つまり新年は、「丁丁琢磨、あノベーション成長の年」としたい。

「丁亥」にゆかりの言葉あれこれ猪突猛進…目標にまっしぐら。

一刻千金…わずかな時間でも、金に値することがある。

一刻千秋…わずかな時間でも、非常に長く感じられること。

待ちこがれる気持ち。丁丁発止…激しい音をたてて、

互いに激しく議論をたたかわす。

囁八丁…内緒の話はあのね

のね。すくべに遠くまで伝わる。糠に釘…手がたえがたい。ききめがない。

追記

何か会員の皆様のご参考になればと思ひ記述しました。

(内容は自然総研資料より抜粋してまとめました。)

年号についての考察

第11班 北住 治

今から六五〇〇万年前、恐竜が絶滅してより人類が誕生し、有史時代の時代区分として年号が使用され、西洋ではキリスト誕生の年をもって西暦元年とし、それ以前の時代を紀元前(B.C)、それ以後の時代を紀元後(A.D.)と表すようになった。

日本では、明治五年(一八七二年)に、神武天皇即位の年を西暦紀元前六六〇年と定めたが、現代では用いられていない。

西暦は西洋の年号で、日本の年号は元号と呼び、古代日本では干支(えと)で表している。西暦二五七年(丁丑)より西暦五九二年(壬子)まで続き、推古天皇より歴代天皇名が年数に付されるようになった。その後日本独自の年号(元号)が用いられたのが、「乙巳(いつし)の変」で有名な「大化の改新」(六四五年)で、この時初めて「大化」の元号が用いられた。この年は孝徳天皇が即位し

た時で、孝徳大化乙巳年と呼ばれている。「大化」より現在の「平成」までの年号数は二五二を数えている。古事記は和銅五年(七二二年)、日本書紀は養老四年(七二〇年)、古今和歌集は延喜十三年(九一三年)、新古今和歌集は元久二年(一一二〇五年)に、それぞれ編纂されている。

現代のカレンダー等で使用されている年号は、西暦と元号の二本立てになっているのが一般的であるが、書道の書き初めや年賀状では、干支年号が用いられるのもしばしばある。特にその年の運勢を占う場合に、その年号が必要になる。古代の建物跡地より、木簡がよく出てくるが、木簡には干支年号が記されているのが多々ある。干支は十干と十二支の組み合わせで、六十年ごとに同じ干支が現われるようになる。

今年(二〇〇七年、平成十九年、丁亥(ひのと))年で表記されるが、一体どんな年になるのか、不安でいっぱいです。吉とでるか凶とでるか(は)古い師にまかせて、私達にできることを、ひとつひとつ積み重ねて、よりよい年になるように、お互いが心がけていきたいと思つて。そして、古来よりの諺に、「袖ふれ合つても多生の縁」と云われているように、お互いのふれあいをもっと大切にしていきたいものです。

Handwritten advertisement for 'Konishirou' (心しろう) featuring a map of the location in Toyonaka City, Osaka, and contact information.

Advertisement for Mikawa Pharmacy (ミカワ薬局) West Branch, listing services like cosmetics and contact details.

Advertisement for Hotel Ivory (ホテルアイボリー), providing address and contact information for a private hotel.

健康コーナー

「元氣いきいき健康生活」

独立行政法人国立病院機構
刀根山病院附属看護学校

当校では、学生とともに看護学の知識と技術を地域の皆様の生活に役立てていただくことを目的に毎年地域公開講座を行っています。昨年は「元氣いきいき健康生活」をテーマに開催いたしました。そのときの講座の内容を紹介いたします。

【健康について】

毎年健診を受けることをお勧めします。健診では、病気を早期に発見したり、健診結果から医師や保健師の健康へのアドバイスを受けることができ、健康寿命が長くなります。

【栄養・食生活】

日本人の標準塩分摂取量は、13g、理想塩分摂取量は、10gといわれています。味噌汁を具沢山にしたり、醤油はかけずに小皿でつけたり、塩のかわりに酢や柑橘類、薬味などで味付けをしてみてください。今までの食事より塩分が少し控えめになり、高血圧を予防することが出来ます。また、バランスよく食べることと食べ過ぎを防ぐために、汁物、野菜、副食、主食の順に食べることをおすすめし

ます。

【休養・こころの健康づくり】

豊かな人生を送るためには、自分なりに心と体の休養方法を持ちましょう。たとえば、一日三十分をめぐりに自分の好きな時間をつくり、生活のリズムをつけましょう。生活の中で花を育てたり、生き物を飼うなど自然とふれあって、ほっこりしてみてください。



【タバコ】

禁煙は気持ちから、この機会に禁煙してみたいかがでしょうか？

禁煙の方法には、①タバコをやめる日にちを決める②タバコと灰皿を捨てる③家族と職場に禁煙を宣言する④吸いたくなったら、別の何かで気を紛らす⑤ニコチンパッチを使用する⑥禁煙外来を受診するなどがあります。

【アルコール】

飲みすぎに注意し、お酒と上手に付き合ってください。飲みすぎて傷んだ肝臓の回復には、2日かかります。したがって、週に2日の休肝日をつくることを

お勧めします。飲む時には、蛋白質（肝臓の機能回復に不可欠）を多く含む食品や水分の多い食品（尿と一緒にアルコールを排泄する）を一緒にとりましょう。

【歯の健康】

歯を1本失うと噛み砕く力は40%低下します。なるべく多くの歯を残せるようにがんばりましょう。歯を磨くポイント①就寝前には、特に時間をかけて磨く②奥歯の溝や歯と歯の間は一本一本丁寧に磨くことです。歯の定期健診もお忘れなく。

【運動・身体活動】

10分間の階段の昇降50キロカロリー、床掃除38キロカロリー、入浴30キロカロリーを消費します。車をやめて歩いたり、エスカレーターではなく階段を使用した、生活の中で少し工夫するだけで効果的な運動になります。



以上を参考に長らく生き生き元気で過ごしてください。

大阪府豊中保健所（豊中府民健康プラザ）制作・発行：「健康とよなか」
21）普及版①を参考に作成

焼酎居酒屋 上野坂

全国の焼酎750種類が揃いショットも一杯450円にて！焼酎を使った一品料理「はまぐり焼酎蒸し」「どて焼酎煮込」は、あっさり味で大人気。おひとりさまでもグループでもお気軽に！

豊中市上野東3-18-1 06-6856-0474
北新ビル2階 17:30~24:00
毎週日曜定休日

喫茶 COFFEE LUNCH DESSERT

5ん

TEL 06 (6850) 8606

予約・貸切承ります
桜塚ショッピングセンター2F

創る印刷

大阪府・技術・協賛・鮮字技

みないっしょに
TEL 06-6371-4641(代)

やまかつ株式会社
http://www.yamakatsu.com

大阪府・システム・DTP・CTS・オフセット印刷

大阪府北區中津3-15 TEL 06-6377-2224

北部ブロックシルバー人材センター フェスティバル開催



昨年、10月22日(日)茨木市中央公園南側におきまして北摂7市3町共催の北部ブロックシルバー人材センターフェスティバルが開催されました。このフェスティバルは、シルバー人材センター事

業普及啓発促進月間に合わせて行われたものです。当日、シルバー人材センターフェスティバルには、三千人の方が来場されシルバー人材センターを大きくアピールする事が出来ました。イベントでは、シルバー人材センター事業をPRすると共に老若男女、全ての方々に楽しんで頂く為、舞台では豊中エイサー(豊優会)、海原はるか・かなたの漫才、子供さん達に大人気のウルトラマンショー。また、各テントでは、当センターから美術サークル会員の皆様によ



る似顔絵と刃物研ぎの実演。他のセンターは野菜の直売、焼きそば等の飲食物販売等、天候にも恵まれ華やかな一日でした。市民の方の中にはシルバー人材センターの存在を知らない方がまだまだ多いようです。このフェスティバルを知って頂くことにより、発注の増大をはかり、会員の皆様方に就業機会の拡大・拡充につなげる為、来年度以降もこのイベントを計画しています。また会員の皆様には生きがいの一つとしてだけでなく、地域に密着したシルバーを築き、発注者に身近で手軽に利用してもらい、地域社会の発展を目指して頑張ってください、シルバーに入会しても努めてまいります。

賛助会コーナー

- (株)イーパック (日出町)
- (株)大川歯車製作所 (庄内宝町)
- 大阪理研工業(株) (神州町)
- 岸岡企業(株) (庄内西町)
- 三栄源エフ・エフ・アイ(株) (三和町)
- 三和ビル(株) (庄内東町)
- (株)チエィピー 新大阪駅内支店
- 庄内神社 (庄内幸町)
- 正光山浄行寺 (走井)
- 白石薬品(株) (東大阪市横枕)
- 摂津水都信用金庫 (岡町)
- (株)太鼓亭 (箕面市稲)
- だるまや金物店 (中桜塚)
- (社)豊中市社会福祉協議会 (中桜塚)
- (財)豊中市福祉公社 (中桜塚)
- 仏光山如来寺 (箕輪)
- ホテルアイボリー (本町)
- 丸大食品(株)関西特販部 (大阪市西成区)
- 名鉄観光(株) (大阪市北区)
- やまかつ(株) (大阪市北区)
- (株)湯山製作所 (名神口)
- 松室商事(株) (島江町)
- (株)渡辺製作所 (名神口)
- (五十音順)

同好会だより

書道同好会

第11班 北住 治

万葉仮名で和歌を記したとみられる最古の木簡が、蘇我の入鹿が暗殺された大化改新（六四五年）後に孝徳天皇（第三十六代天皇）が造営を始めた難波長柄豊崎宮跡地から出土したと十月十三日に読売新聞は報じている。

木簡は長さ一八・五センチ、幅二・七センチで、下部は折れてなくなっていた。表には「皮留久佐乃皮斯米之刀斯（はるくさのはじめのとし）」と、手慣れた筆遣いで書かれており、漢字に習熟した貴族が、役人が書いたものらしい。日本固有の言葉を漢字一文字で表現する方法で、万葉仮名の原点ではないかと言われている。

飛鳥の貴人が歌会で木簡の和歌を朗朗と読みあげている姿が彷彿と偲ばれ、古代のロマンを感じる。

高風を羨上録

島崎英数書

第3班 島崎 英数

山為生ふ輝

北住 治

第11班 北住 治

水心や寒き都

杉村 和美

第12班 杉村 和美

心頭滅却すれば
火も自ら涼し

平井 義治

第15班 平井 義治

雪晴雲散北風寒

吉田 圭子

第15班 吉田 圭子

美術サークル同好会

似顔絵を描く

第1班 山階 康雄

十月は一年を通していろいろと行事が多い。楽しいやら大儀に思うやら落ち着かず、意気込みはあるが愚痴が先にこぼれる。北部ブロックシルバー人材センター合同フェスティバルが茨木中央公園にて午前十時より開催。天候に恵まれて大変良かった。

開催と同時に似顔絵コーナーに行列が出来る。千客万来うれしいやら戸惑うやら三人の描き手がテーブルに着く。老若男女を問わず描く、描き手も緊張気味で相手の顔をまじまじとみつめ一心不乱に色紙に向う。場内放送で似顔コーナー大人気と報じられ、順番待ちでトラブルが起る始末。中頃で中年の紳士が毅然として前にすわる。「一点をみつめて動かない様にして下さい」一人十五分から二十分はかかるだろう。途中でこっくりこっくりと頭を上下に居ねむり状態、これには閉口した。三才くらいの子供。ちよこんと座る、かたわらで母親が「じつとしてなさい」子供より真剣そのもの十五分〜二十分。子供にとっては、長いだろうと思いきなり早目に仕上げられる。色紙に描かれた我が子と見くらべ、にんまり。ビニール袋に入れ「ハイ出来たよ」と差し上げる。今一度見比べあがりたうと云って去って行く。五才位の女の子が座る。目鼻が整って可

愛らしい。「この子大きくなったら美人になるよ」母親も内心うれしそうに我が子の顔を見直す。父親似かな内心思う。母親より美人だ。一人当たり二十枚程描いただろうが少々疲れが出てきた。いつも思うのだがモデルに似顔絵を持ってもらい写真をとると記念になり参考にもなるのに今回も出来ずじまい。北の国からの主題歌が場内に流れる、私の大好きな曲でリズムにのって絵を描ける瞬間の幸せを感じる。

会員バスツアー

シルバー会員一泊バスツアー旅行で飛騨高山の帰りの車の中で同乗の女性が「昨年千里ニュータウンで似顔絵を描いて頂いてありがとうございました。突然云われ一瞬記憶をたどる。」

絵を描く事は、あとあとまわりに良い思い出を残す人生の歩みとも思う。その女性の顔写真をパチリと一枚。後日、描いて差し上げようと思っている。



ハイキング同好会

緑の有馬富士

第13班 羽生 恵光

緑深い山なみ、清流ほとばしる
渓谷。山あいには由緒ある社寺、
遺跡が点在する三田。

三田牛、松茸、栗、などの山の
幸も豊富です。

町のシンボル有馬富士、新三田
駅より北東一・七kmの所、広大な
出合の広場、水辺の生態園、花菖
蒲園をみながら登山口に入る。途
中登山道の中間で、小学校五・六
年の生徒に追い越され一休み。

頂上附近の道は、大変な荒れ方
で、「クライマー」の気持で、「ワ
ンパク岩」。三七四mの頂上に到
達しました。学生たちは、元気に
体操を始め、点呼後、下山。

こちらにも、緑の絨緞の芝生地帯
に到着。食事後、のんびりと雑談。
二時に出発、帰りは下り坂約五〇



分で新三田駅に到着。のんびりと
した、秋のハイキング日和でした。

写真同好会

「最後の余部鉄橋」撮影会

第18班 西 宏樹

今年も梅・桜・蓮・コスモスと
撮影例会が続きました。会員の皆
さんと約束していましたが最後の
になる余部鉄橋を十一月例会とし
て行いました。撮影条件がとても
悪く、海上からの撮影と陸からの
撮影としましたが、海は荒れ気味
で、ゆれる船上からの撮影には皆
さん苦労したようでした。又陸か
らの撮影時には、雨また雨でガッ
カリしましたが、頑張った撮った
分非常に満足感がありました。

二・三年後には新しい余部鉄
橋（コンクリート製になるらしい
のですが）を、又、皆で撮りにい
きたいものだと思っています。

その時は、この思い出話に花が
咲くだろうと楽しみにです。



囲碁同好会

囲碁随想

第3班 梶浦 武彦

「初心に帰れ」と云うのがスラ
ンプを脱出の合言葉と何かの本に
書いてあった。囲碁の好きな方は、
何よりもまず楽しむことが第一で
あろう。強くなりたいたい望むのは
誰しも当然のことであるが、思う
にまかせず厚い壁にぶちあたり長
いトンネルに入ってしまうことが
あります。その時気楽にのんびり
と碁を楽しむ気持になれば色々な
人とのコミュニケーションを楽し
むことが出来ます。囲碁は手談と
も云われ物を云わなくとも言葉が
通じなくても対局をすることが出
来る素晴らしいゲームでもありま
す。外国の人と碁を打つことも容
易で国際的にも種々の棋戦が行な
われています。このように種々の
人と対局して親しい人間関係を持
つことが出来るのは他のスポーツ
で色々な人との交流が出来るのと
同様です。またこのゲームは感性
を養うにも、あるいはまた、右
脳を鍛えることにも役立つでしょ
う。古来よりずっとすたれること
なく続けられ、その奥深さが追求
されてきたが未だコンピュータで
も完全には解明されない所がこの
ゲームの興味を一層深くするもの
かも知れません。またある時はク
イズを解くような楽しみもあり、
マニアには堪らない喜びでしょ
う。このように楽しんで囲碁を
打っているうちに知らず知らずの

英会話同好会

第13班 岡本宗五男

昨年は平均8名の熱心なメン
バーの方々が月2回国際交流セン
ターに集まって、「使ってはいけ
ない英会話表現」とか、最近では、
英語の「ジョーク」などを楽しく
学習？しています。

昨年は短期派遣講師として梅花
学園で教鞭をとっておられたアメ
リカ人にきてもらって英会話の実
践練習をしました。（写真）ご興
味のある方はぜひ、参加してくだ
さい。

毎月第一・三火曜日

午後一時～二時半



俳句

第2班 須藤 操

新秋や 駅舎に掛かる 足湯札

新藁に 猫裏返へる 日和かな

野路行くや 草の錦の 親しくて

掌のひらに 透けて寧けき 熟柿かな

大瀧に 鳥語吞まるる 紅葉谿

幹の瘤 足場にしつと 松手入

離島にも 巖と一宮 初日射す

第3班 山浦 純

薫風や 吾にほどよき 生き日和

初つばめ 惰眠の街を 一撃す

連山の 霞みて高き 浮御堂

手のひらに 花梨一個の 詩をのせる

爛の酒

一途に生きた 日は去りて

短歌

第17班 山下 勝美

生きてよし

死するもよしと 医者絶ちて

「ヨイトマカセ」の遺伝予の旅

めぐるめく 年は積もりて

束間に

八十有伍となりにけるかも

見たくない

尻切れ野球の空しさに

心残りのチャンネルを切る

テニス同好会

欧州諸国出身選手の活躍

第13班 藤田 泰通

この号が発行される頃は大相撲初場所の最中、この場所も蒙古出身力士の大活躍に加えて、東欧出身力士の活躍が相撲ファンの関心を集める事であろう。この現象はテニスの世界にも見られるらしい。最近読んだ新聞記事によると、WTA（女子テニス協会）二〇〇六年十月現在のランキング上位十五位迄の国別選手数は、ロシア六人、ベルギーとスイス夫々二人、そしてフランス、チェコ、イタリア、セルビア、アメリカ各一人となっている。かつてテニスは男女共にアメリカ選手がリードして来たが、今流れは中東欧へ

変わったように見える。GDPはまだそれ程大きいとは云えない

東欧諸国から、相撲やテニスに限らず各種スポーツにおいて

も若い有力選手の輩出が見られる事は、我が国にとっても今後の青少年の育成に大きな参考になる事ではないだろうか。



文芸サークル

第3班 山浦 純

「文芸サークル」が活動を11月から再開いたしました。毎月第一木曜日10時から「くらしかん」で随筆、俳句、短歌、詩、エッセー等を持ち寄って、合評会を開いています。現在13名の楽しいメンバーです。文芸に興味をお持ちの方は、山浦までご連絡ください。参加をお待ちしています。お気軽にご連絡ください。

カラオケ同好会準備会から

第3班 山浦 純

12月の「事務局だより」で、参加員を募集したところ、10名の方から追加申込があり、合わせて20名になりました。

そこで、例会日の設定や規約等の打ち合せを開催しますので、ご参加ください。なお、参加希望者のうち、欠席される方は必ず山浦か多田まで連絡してください。

とき 2月1日(木)

午後1時から

ところ センター会議室

編集のしおり

今回の表紙写真は写真同好会の推薦により、ご覧のような新春に相応しい作品に決まりました。なお、表紙写真の「鶴雲」の揮毫は書道同好会の日高技会員にお願いしました。又、表紙裏の「ふれあい帽子」の記事は徳永美恵子会員にお願ひし、女性部会の活動の一端を披露してもらいました。

今回の編集には、これまでと趣をかえて、数多くの会員の方々の協力を得て完成しました。まだまだ考えていた内容には及ぶべくもありませんが、少しでも、記事の内容をバリエーションに富んだものにしよと「健康コーナー」とか「会員よもやま話」など、豊かな会員の知識と経験を汲み出して、紙面をより見やすく、愉しいものにしたと「コーナー」を設けました。

その他、財源つくりの一助として、賛助広告を集める試みを始めました。

いつもの事ながら、地域役員の方々ははじめさまさまな職域班の代表会員や各種委員会の委員の方々にもご無理をお願いし、原稿を頂いておりますが、ご無理を言いつて編集スタッフになって頂き、43号については次の方々のご協力を得て新春号が完成しました。

岡本宗五男、武井利雄、栗津敏子、奥野政司、北住治、栗原善夫、小森秋男、須藤操、徳永美恵子。

私達太極拳を始めました

第4班 徳永美恵子



女子部会が此の度太極拳教室を立ち上げました。



私は“ふれあい”帽子

参加者は二十二名で、内、男性が四名、昨年十月五日二時から北別館三階の会議室で行われ、講師は女性部会委員の伊藤法子さんです。皆さんは今日が初日なので緊張の様子です。Aさんは「私太極拳は聞いた事あるけど、今日が始めてだから心配なんよ」とちょっとびり不安そうです。傍のBさんは「誰でも同じと思うわ、健康の為にも覚えたいしお友達も出来るで



しょ、楽しみね」と皆さん賑やかにお話がはずみます。しかし手元は動いていません。周囲は瞬く間に身軽なユニホーム姿で靴もバッチリです。各自位置が決って落ちつききました。講師のご挨拶と説明が済むと音楽が流れています。誰も脇見などしていません。講師の指先の動き、下半身の運び等々、初心者だから目が離せないのです。ここで太極拳について少し説明しましょう。

太極拳の拳は字が示す如く拳法の中の一流派であるが、本来は格闘術である。近年技法の持つ健身作用が重視され、老若男女の区別なく広範囲に練習出来る体育として脚光を浴びつつある。太極拳がいわゆる健康法として普及し始めてからの歴史は、全体の歴史の長さから見ればほんの一端に過ぎない。専門書によれば右の如くです。余り難しい理論はぬきにして練習の日を楽しみに明るく楽しく初心忘れずに、女子部が立ちあげた太極拳の講習に参加してほんとうに良かった、と思えるような日を思い出したい。

「太極拳の最終段階は、気を自己の思うままに体内に蓄え、思うままに到着してこそ太極拳の個々の技法は、全ての実生活に応用する事が可能となるのである」

次に第一回目なので終了後取材をお願いしました。伊藤法子さんは「健康な精神に健全な躰を保持して常に若々しく」「アンチ・エイジング」即ち年令に負けない事です」と含蓄のあるお言葉でした。女子部会の活躍が常に前向きに日々一歩前進・秋の清々しい空気を思い切り深く吸ってみました。